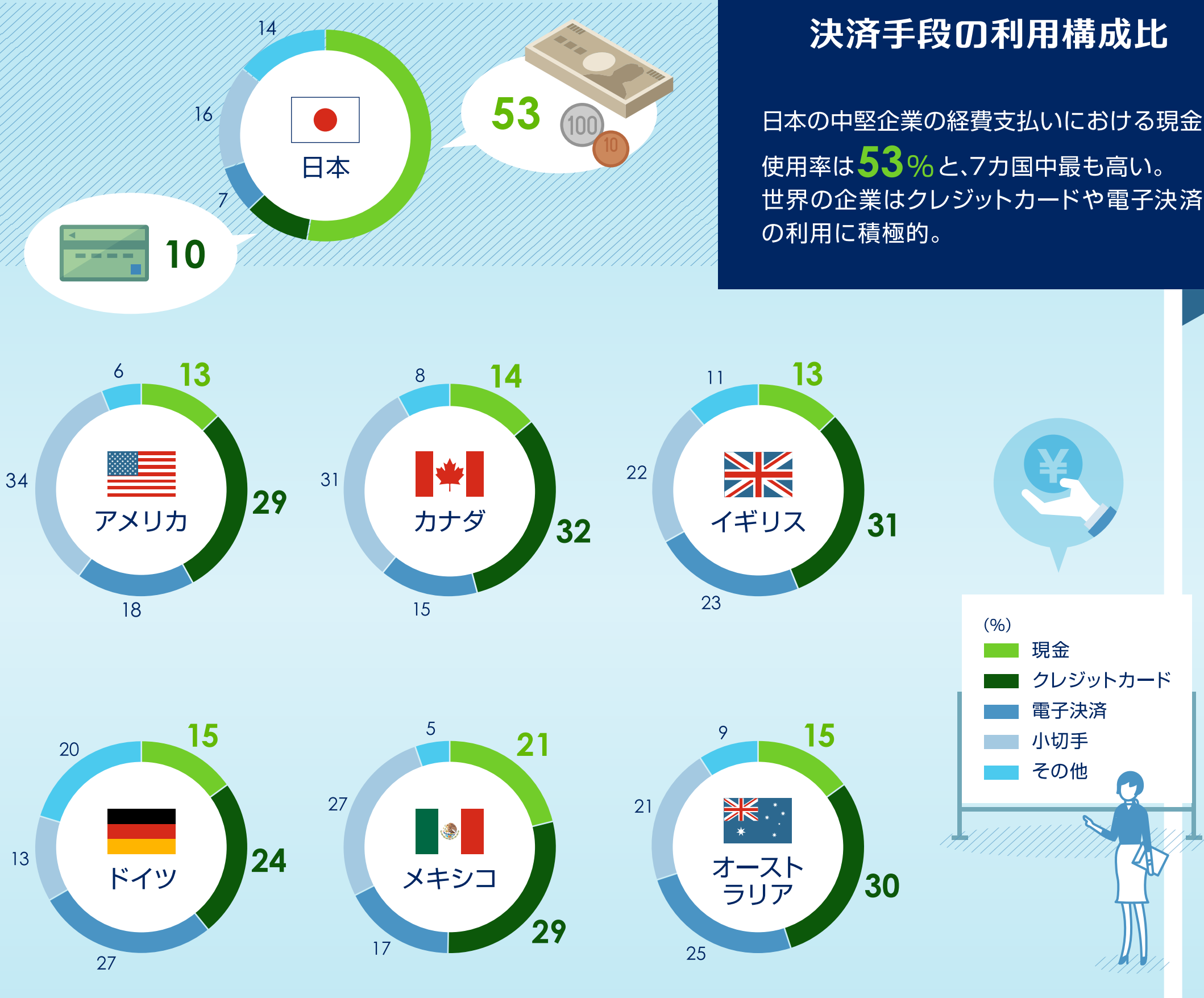


# 調査結果から見る 世界と日本の 中堅企業

中堅企業：収入が5.1億円～1.020億円

## 決済手段の利用構成比

日本の中堅企業の経費支払いにおける現金使用率は**53%**と、7カ国中最も高い。世界の企業はクレジットカードや電子決済の利用に積極的。



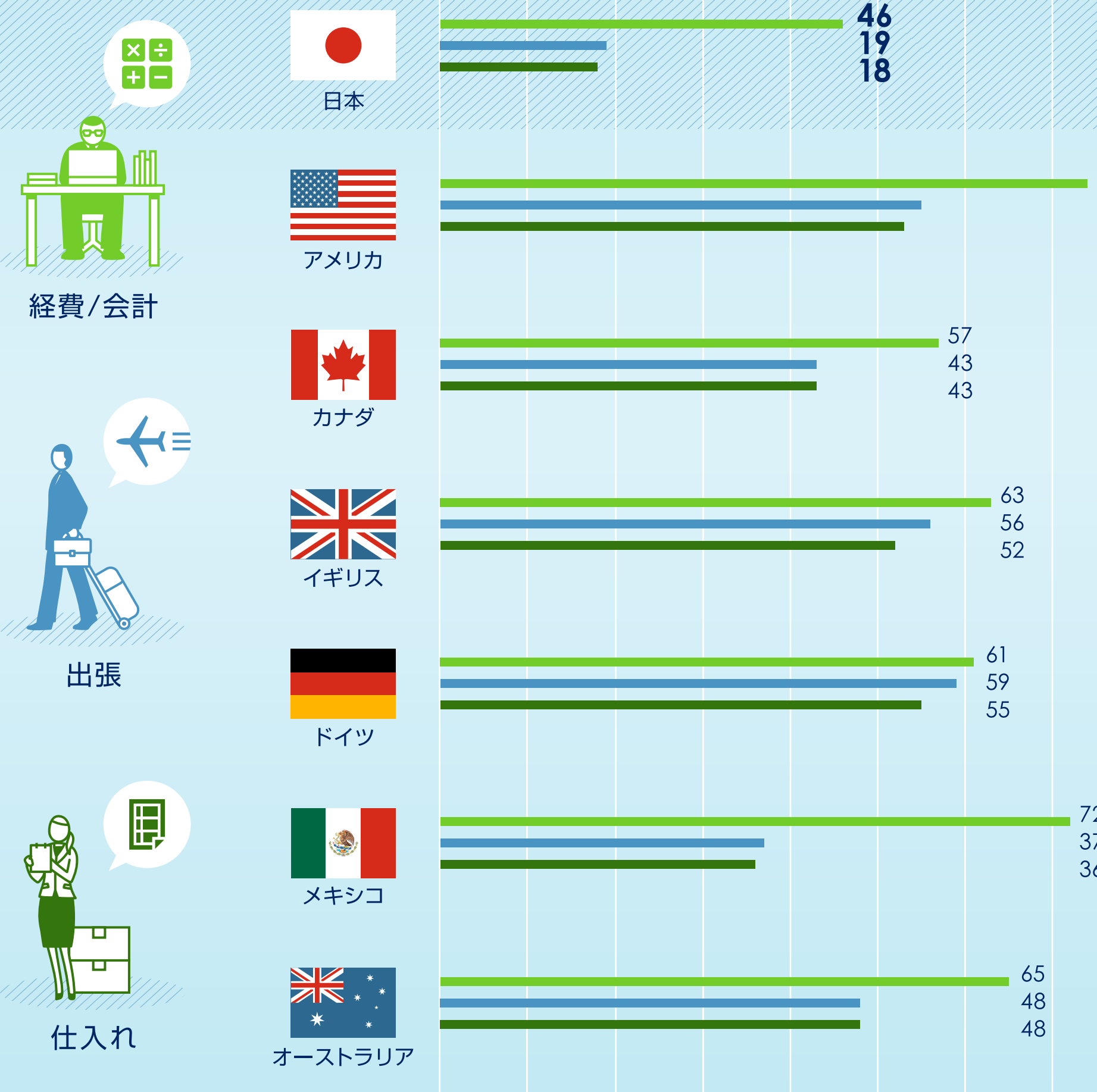
(%)  
現金  
クレジットカード  
電子決済  
小切手  
その他

## 一元管理システムの導入率

日本は、経費などの一元管理システムの導入率が調査国の中で最も低い。例えば、業務渡航を全社的に管理するシステムの導入率はたった**19%**である。

### 一元管理システム導入率

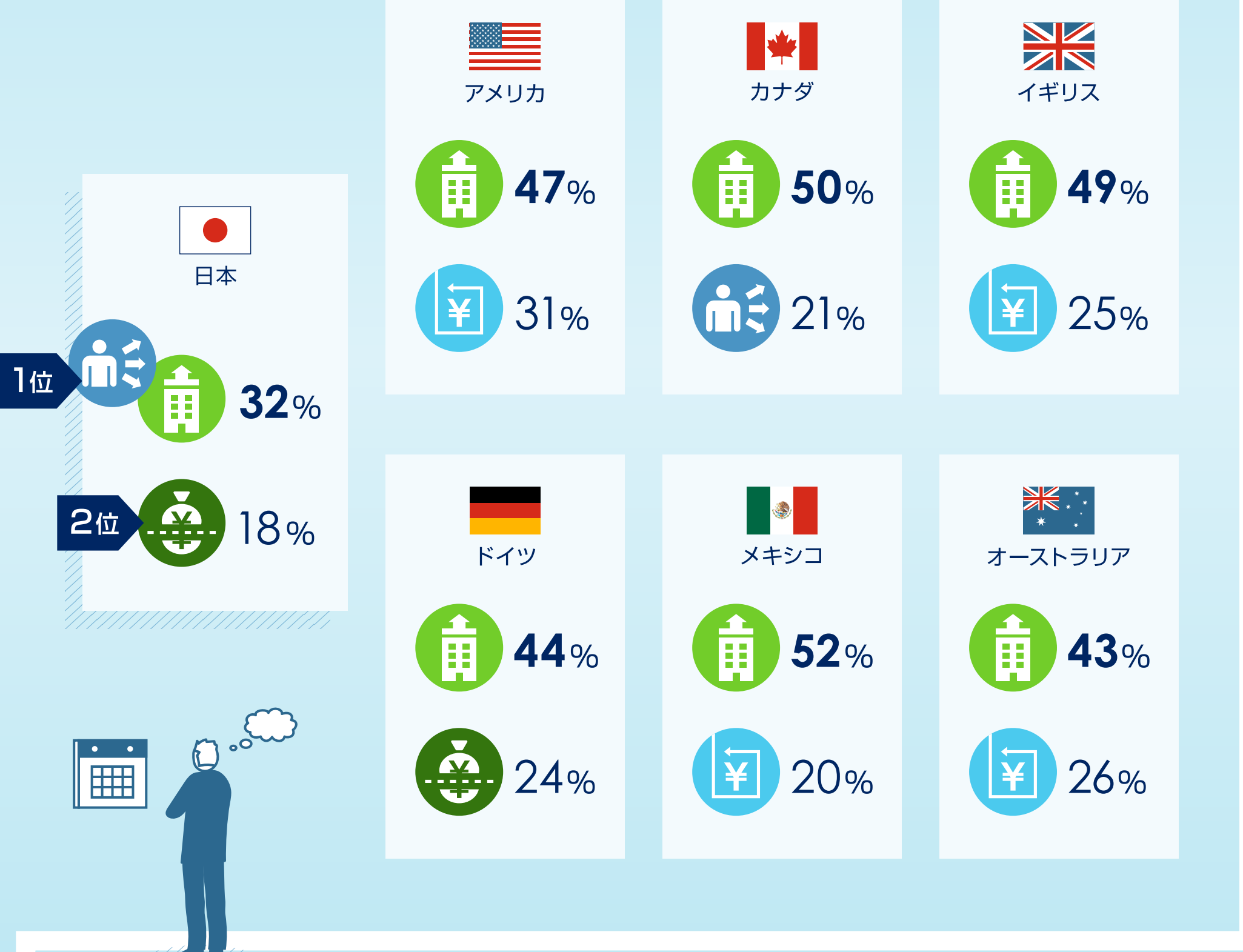
0 10 20 30 40 50 60 70 %



## 今後6ヶ月の最優先事項

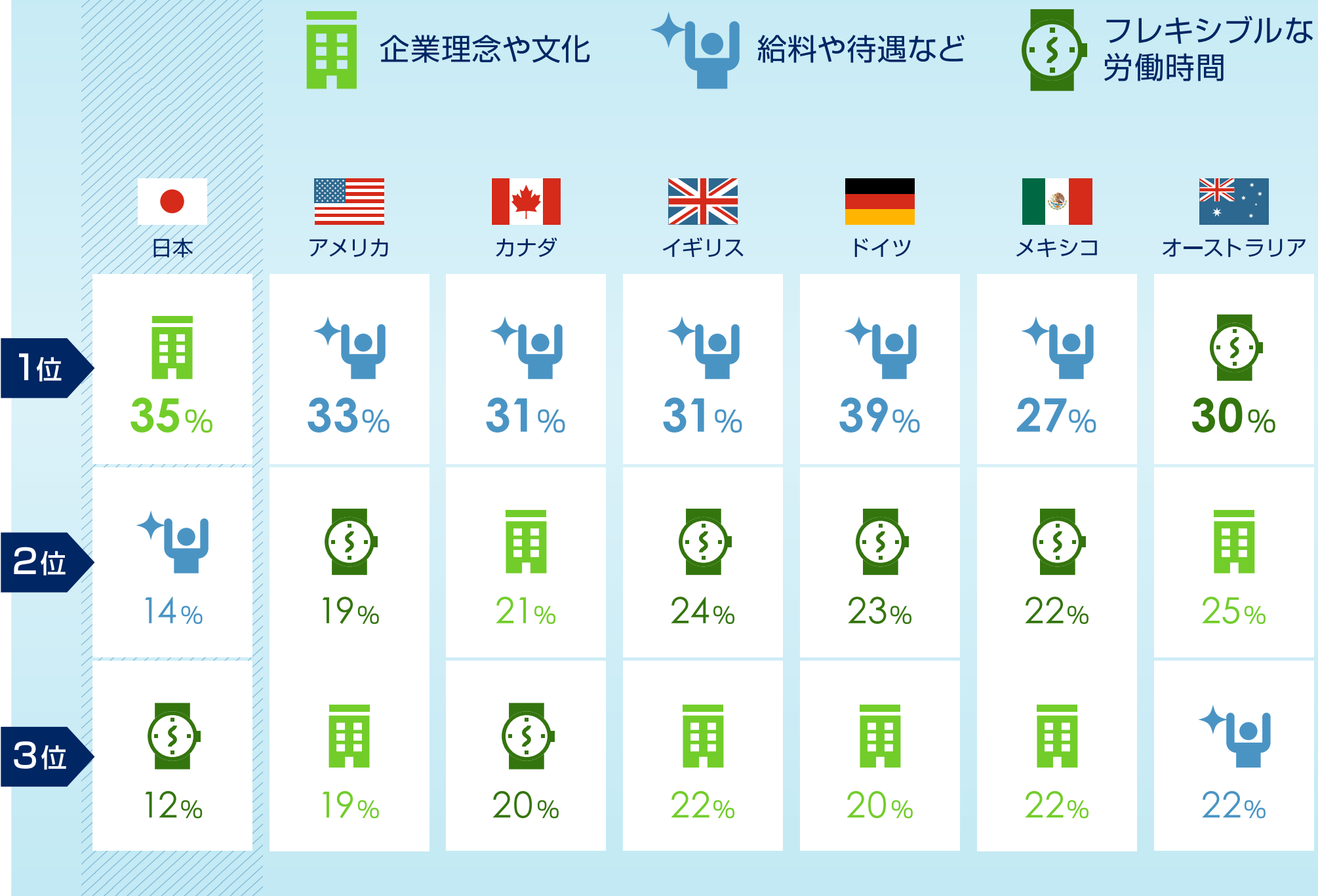
日本以外の国は「ビジネスの成長」が最優先事項と答えた企業が40%以上と最も多い。日本は「ビジネスの成長」と同じくらい「人材確保・育成」が重要視されている。

- ビジネスの成長
- 人材確保・育成
- 経費削減
- キャッシュフローや資本管理



## 自分の会社が社員を維持できている理由

日本とオーストラリア以外は「給料や待遇など」が1位。日本は「企業理念や文化」、オーストラリアは「フレキシブルな労働時間」が社員を引き留めていると考えている。



## Conclusion

- 日本の中堅企業は、全体の経費のうち、現金で支払う割合が半数以上であり、他国の企業の1~2割と比較して現金支払いの割合が非常に高い。
- 日本の中堅企業は、「ビジネスの成長」とともに、「人材マネジメント(人材確保・育成)」を今後の優先課題に挙げており、人材確保をビジネス拡大における重要な課題として認識している。